

スポーツ心理学会・スポーツメンタルトレーニング指導士資格認定10周年記念講演・シンポジウム

『スポーツメンタルトレーニング指導士の現在と未来』

開催案内

主催：日本スポーツ心理学会

主管：日本スポーツ心理学会スポーツメンタルトレーニング指導士資格認定委員会

共催：日本スポーツメンタルトレーニング指導士会、筑波大学（予定）

後援：独立行政法人日本スポーツ振興センター・国立スポーツ科学センター（JISS）

日時：2010年10月9日（土）・10日（日）

会場：つくば国際会議場、筑波大学春日キャンパス

2001年3月に資格認定を開始した日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング指導士（SMT指導士）資格が本年度10周年を迎えることとなり、それを記念して講演とシンポジウムを開催することになりました。本資格制度のこれまでの歩みを振り返るとともに、SMT指導士の資質向上と活動の今後の発展、資格取希望者への啓発、さらにはアスリートの競技力向上への貢献を考える機会にしたい所存です。一日目はアメリカ応用スポーツ心理学会会長のDr. Robertsをお迎えし、アメリカでの資格制度、実践例、課題について講演していただくと共に、我が国の指導士とメンタルトレーニングについて考えたいと思っております。2日目は、午前中に4つのワークショップ、午後に、メンタルトレーニング指導士の実践についての対談とシンポジウムを開催し、1日目の討議をさらに深めたいと考えております。

スポーツ心理学会会員、SMT指導士の皆様の参加をお待ちしております。

資格認定10周年記念行事実行委員会委員長

スポーツ心理学会資格認定委員会委員長

2010年7月吉日

鈴木 壯（岐阜大学）

<開催要領>

1. 開催概要（プログラム）

平成22年10月9日（土）

A. メンタルトレーニング講演・シンポジウム -スポーツメンタルトレーニング指導士の資格-

12:00- 受付

13:00-13:10 挨拶：猪俣公宏（中京大学、日本スポーツ心理学会会長）

13:10-14:10 「SMT指導士資格の創設までのプロセスと今後の課題」

徳永幹雄（福岡医療福祉大学、SMT指導士資格認定委員会初代委員長）

14:20-16:50

「AASPの資格の概要、実践例（ケース）課題」

Dr. Glyn Roberts (President, Association of Applied Sport Psychology. Professor of Psychology, Norwegian University of Sport Science)

討議：「メンタルトレーニングの現在とこれから」

指定討論者：石井源信（東京工業大学、SMT指導士資格認定委員会前委員長）

土屋裕睦（大阪体育大学、SMT指導士資格認定委員会副委員長）

司会：関矢寛史（広島大学）、荒木香織（兵庫県立大学）

17:30-：懇親会

平成22年10月10日(日)

B. ワークショップ (定員各 40 名、先着順)

10:00-12:00

メンタルトレーニングの導入の仕方・進め方

講師：高妻容一(東海大学)・小松健一(東海大学スポーツ教育センター)

心理アセスメントの利用・展開の仕方 - ピークパフォーマンス分析を中心に -

講師：中込四郎(筑波大学)

スポーツメンタルトレーニングにおける生理指標の活用法

講師：荒木雅信(大阪体育大学)

スポーツメンタルトレーニングにおける自律訓練法の活用法

講師：立谷泰久(国立スポーツ科学センター)

C. 日本 SMT 指導士会第 5 回メンタルトレーニングフォーラム

スポーツメンタルトレーニング指導士の活動と課題

13:15-16:15

対談：「トップアスリートの求めるメンタルサポート」

田中ウルヴェ京(MJコンテス) VS 山本昌邦(サッカー解説者)

対談：「17年前のメンタルサポートの意味を今振り返る」

岡澤祥訓(奈良教育大学) VS 岸(旧姓川越)真由

(元卓球日本代表選手、世界選手権ダブルス銅メダリスト)

シンポジウム「アスリートに望まれるメンタルサポート」

と の 演 者

指定討論者：鈴木 壯(岐阜大学、SMT指導士資格認定委員会委員長)

司会：菅生貴之(大阪体育大学)

2. 大会参加費

		事前申込	当日参加
学会員	全日程参加	5,000	6,000
	A+B、B+C、or C+A	3,000	4,000
	A、B、or C	2,000	3,000
非学会員	全日程参加	6,000	7,000
	A+B、B+C、or C+A	4,000	5,000
	A、B、or C	3,000	4,000
大学院生	全日程参加	4,000	5,000
	A+B、B+C、or C+A	2,000	3,000
	A、B、or C	1,000	2,000

(単位：円)

全日程参加者には、スポーツメンタルトレーニング指導士の活動を紹介した、「スポーツメンタルトレーニング指導士活用ガイドブック」[日本スポーツ心理学会資格認定委員会(編)、ベースボールマガジン社]を謹呈します。

3. 研修ポイント：全日程参加で3ポイント。ABCそれぞれ参加で各1ポイント

4. 懇親会

会場：つくば国際会議場内レストラン「エスポアール」

定員 80 名（先着順）

参加費：一般学会員；5,000 円、 大学院生；3,000 円

5. ワークショップ

[10 月 10 日 (日) 10:00 ~ 12:00 会場；筑波大学春日キャンパス] 定員各 40 名、先着順。

・WS-1: メンタルトレーニングの導入の仕方・進め方

講師：高妻容一（東海大学）・小松健一（東海大学スポーツ教育センター）

メンタルトレーニングの研究や実践を 30 年以上やってきました。最近、現場からのニーズが多く、プロをはじめとして、いろんなチームや選手から、メンタル面を強化したいという依頼が来ます。今回は、現場からの依頼を受け、チームに心理的サポートを始めるまでの過程やその後の対応などを中心に話を進めていきます。特に、依頼からチーム内での根回しなど含めて、1 年もかけて実施することができたサポート例・その他の問題や困難だった点などを紹介したいと思います（高妻容一）。

大学・大学院とメンタルトレーニングの研修を受け、多くのチームに心理的サポートを実践してきました。今回は、あるチームからの心理的サポート依頼を受け、指導士のアシスタントとして活動した経験において、最初の依頼から 1 年もかけて、ようやくサポート活動がスタートできた例などを紹介し、その過程における依頼チームからの要望や問題なども含めて話を進めたいと思います（小松健一）。

・WS-2: 心理アセスメントの利用・展開の仕方 - ピークパフォーマンス分析を中心に -

講師：中込四郎（筑波大学）

所属大学に常設されているスポーツクリニックにおいて、学生アスリートを中心に講習会形式による MT 指導を 20 年近く担当してまいりました。その中で比較的多くに関心を持っていただいていたクラスタリング法によるピークパフォーマンス分析を取り上げ、実習形式でのワークショップを予定しています。本法はアセスメントとして位置づけられる技法と考慮しており、応用範囲が広く、パフォーマンスと関連の深い種々の側面での自己理解につなげることができます。

・WS-3: スポーツメンタルトレーニングにおける生理指標の活用法

講師：荒木雅信（大阪体育大学）

シドニーオリンピックの年からアーチェリー連盟の、トリノパラリンピックの前年からアイススレッジ協会と障害者スキー連盟（ノルディックスキー）の強化委員会に、心理的サポートを行なうスタッフとして参加してきました。オリンピック・パラリンピアンへの心理的サポートでは、“身体”の声を指標に、今のこころと身体の状態を正確に素早く知って、心身のコンディションを選手自身で整えることを指導して来ました。“身体”の声と称した生理・行動学的指標は、こころの状態を知る有効なものの一つだと思います。WS では、脈拍や映像、筋の緊張を取り上げて、こころと身体をつながりを実感して SMT への応用を考えて頂ければと思います。当日は、生理指標をデモするので國部雅大先生（日本学術振興会特別研究員・大阪体育大学）に補助をしていただく予定です。

・WS-4:スポーツメンタルトレーニングにおける自律訓練法の活用

講師：立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

日体大で、長田一臣（名誉教授）・楠本恭久（教授）両先生に師事し、長年、自律訓練法の勉強・研究を行ってきました。最近、自律訓練法のみならず、暗示・セルフトークについての研究も行っております。私の心理サポートの基本となるものは、自律訓練法で、これを用いてオリンピック選手やプロ選手の心理サポートを行っています。

昨年のスポーツ心理学会の研修会で、杉江征先生（筑波大学）が自律訓練法の基本的な講義をされ、大変勉強になったことと思います（私自身も改めて勉強になりました）。今回は、「スポーツ選手用」として、日体大の長田・楠本研究室が行ってきた自律訓練法の研究や実践を紹介し、また私が行ってきた自律訓練法に関する研究と実践もできるだけ分かりやすく提示するつもりです。大役をおおせつかりましたが、参加された皆さんの「おみやげ」になるように努めたいと思っております。また、ざっくばらんな議論もできたらと思っております。よろしくお願ひ致します。

6. 参加申込方法・ワークショップの参加の可否

・参加申込用紙（別紙）に必要事項を記入し、スポーツメンタルトレーニング指導士資格認定委員会事務局に電子メールまたはファックスにてお申し込みください。

・ワークショップの参加希望者は、希望するワークショップの記号を第1希望から第4希望までお書きください。先着順に決定し、決定次第参加ワークショップ名をメールにてお知らせします。スポーツ心理学会会員は第一希望から第四希望まで記入。非学会員は「WS-1:メンタルトレーニングの導入の仕方・進め方」を受講してください。

7. 事前加申込期日：平成22年8月1日-9月20日（21日以降は当日会員の参加費と同額。）

8. 参加費振込

ワークショップを受講される方は参加の可否を確認の後、受講されない方は申し込みと同時に、以下の郵便為替口座に所定の参加費をお振り込みください。納入された参加費はご返金できませんので予めご了承ください。

住所：〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部鈴木研究室

日本スポーツ心理学会資格認定委員会事務局

口座名称：日本スポーツ心理学会資格認定委員会

口座番号：00800-8-120103

[他金融機関からの振り込み用口座番号：0八九（ゼロハチキュウ）店（089） 当座 0120103]

9. 会場案内

・つくば国際会議場（つくばエクスプレス「つくば駅」徒歩10分）

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 Tel：029-861-0001 Fax：029-861-1209

http://www.epochal.or.jp/access/map_shuhen.html

・筑波大学春日キャンパス（つくばエクスプレス「つくば駅」徒歩7分）

〒305-8550 つくば市春日1-2

<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/share/access/images/slismap.jpg>

10. 問い合わせ先：スポーツ心理学会資格認定委員会事務局

E-mail：suzumasa@gi-fu-u.ac.jp

ファックス : 058-293-2292